



わたしの青少年赤十字

詩・100文字提案作品集



2024 日本赤十字社福島県支部発行

はじめに

青少年赤十字の大きな特色は、学校教育の中に組織され、教師の適切な指導のもとで実践されていることです。

青少年赤十字に加盟している学校では、子どもたちがより積極的に青少年赤十字活動を推進することによって、人間尊重の精神を育み、自らが豊かな人間性の醸成を図ってほしいと願っています。

そこで、福島県支部では、子どもたちが実践していること、思っていることを一〇〇文字程度に表現した「詩・一〇〇文字提案作品」を募集いたしました。

多数の優秀な作品の中から「日本赤十字社福島県支部長賞」「青少年赤十字福島県指導者協議会長賞」「福島県青少年赤十字賛助奉仕団委員長賞」を特別賞として選び、以下、「優秀賞」「佳作」「入選」を選定させていただきました。また、受賞した作品が多数の学校には「学校賞」を、五年連続で応募された学校には「学校奨励賞」を授与させていただきました。

今年度もこれらの受賞作品をまとめ、本冊子を刊行することができましたことに深く感謝いたします。「人道」の精神のもと、子どもたちが未来に大きな夢をもち、その実現に向けて努力する生き生きとした姿を感じ取っていただければ幸いです。

募集作品

□詩（いのちの詩・愛の詩）

人間のいのちはかけがえないもの。

そのいのちを守るために、自分や周りの人、生きものを大切にしなければなりません。そんなみなさんの素直な願いや感動を、そして未来に向けての夢・希望をぜひ詩に託して表現してほしいと願い、作品を募集しました。

□わたしの一〇〇文字提案

「気づき、考え、実行したこと、しようとしたこと」を次のテーマから選んで、自分の考えを端的に表現した作品を募集しました。

「わたしがだれかのためにできること」

「世界の見知らぬ友へ」【小・中学生】

「世界の問題についての私の提案」【高校生】

「夢をかなえるために」

はじめに・募集作品

目次

特別賞及び学校賞・学校奨励賞

特別賞受賞者・学校賞・

学校奨励賞受賞校……………4

日本赤十字社福島県支部長賞……………5

青少年赤十字福島県

指導者協議会長賞……………9

福島県青少年赤十字

賛助奉仕団委員長賞……………10

詩「このちの詩・愛の詩」

受賞者……………12

優秀賞……………14

佳作……………16

一〇〇文字提案

「わたしがだれかのために
できること」

受賞者……………22

優秀賞……………25

佳作……………28

一〇〇文字提案

「世界の見知らぬ友へ」

【小・中学生】

受賞者……………36

優秀賞……………37

佳作……………38

一〇〇文字提案

「世界の問題についての私の提案」

【高校生】

受賞者……………42

優秀賞……………43

一〇〇文字提案

「夢をかなえるために」

受賞者……………46

優秀賞……………48

佳作……………51

作品応募校

……………56

年度別応募状況・令和六年度

テーマ別応募作品数……………57

作品審査を終えて……………58

審査にご協力いただいた皆様……………60

〔表紙〕

日本赤十字社東京都支部

石田 遊星

特別賞受賞作品



日本赤十字社 福島県支部長賞

「いのちの詩・愛の詩」

南相馬市立原町第一中学校

三年 鈴木真日瑠

「わたしがだれかのためにできること」

須賀川市立第三小学校

一年 港 千隼

「世界の見知らぬ友へ」

福島大学附属小学校

六年 浪岡 丈

「夢をかなえるために」

福島大学附属小学校

六年 金井晃太郎

青少年赤十字福島県指導者
協議会長賞

「いのちの詩・愛の詩」

相馬市立八幡小学校

二年 井上 煌逢

福島県青少年赤十字賛助
奉仕団委員長賞

「夢をかなえるために」

南会津町立南会津中学校

一年 渡部 慈杏

学校賞

福島大学附属小学校

郡山市立富田東小学校

須賀川市立第三小学校

相馬市立中村第二小学校

学校奨励賞

石川町立野木沢小学校

棚倉町立近津小学校

喜多方市立駒形小学校

日本赤十字社 福島県支部長賞

「いのちの詩・愛の詩」

南相馬市立原町第一中学校 三年 鈴木真日瑠

15の私には

歩んできた道が

まっすぐか、曲がっているか

わからない

これからの未来が

明るいのか、暗いのか

わからない

でも、生きる

わからないから、生きる

わかりたいから、生きる

ガンバレ私

未来は自分で切り拓け

「わたしがだれかのためにできること」

須賀川市立第三小学校 一年 港 千隼

ともだちが、すいとうのみずをこぼしちゃったよ。ぼくは、ぞうきんを
もって、とんでいった。あおいちゃんもいっしょに、ぞうきんをもって
とんでいった。ともだちのぴんちは、おもしろいのちゃんすなんだって。

「世界の見知らぬ友へ」

福島大学附属小学校 六年 浪岡 丈

僕は今年の夏、初めて外国人の友達が出来た。文化や言葉の「違い」があっても、一緒にスポーツや活動をすることで繋つながる事が出来た。「違い」を拒絶するのではなく認め、世界中の人ともっと仲良くなってみたい。

「夢をかなえるために」

福島大学附属小学校 六年 金井晃太郎

今、僕は祖父を手伝い、農業を学んでいます。僕の祖父は、
美味^{おい}しい作物を作って、家族を笑顔にしています。世界には
食べ物がなくて困っている人がいます。将来、僕が作った美味^{おい}
しい作物で世界を笑顔にしたいです。

青少年赤十字福島県指導者協議会長賞

「いのちの詩・愛の詩」

相馬市立八幡小学校 二年 井上 煌逢

ひいばあちゃん九十四さい

ぼくハさい。

ぼくは小学校二年生

ひいばあちゃんはぼくにこう言った。

「おばあちゃんもとしよりの学校四年生。」

ぼくは、わらった。

またお話しようね。

ながいきしてね。

福島県青少年赤十字賛助奉仕団委員長賞

「夢をかなえるために」

南会津町立南会津中学校 一年 渡部 慈杏

私の夢は、窮屈だと思っている子供の世界を広げることです。

私は、絵本を読み世界が広がりました。なので私は世界を広げ

る絵本を描きたいです。私は、戦争など子供にとっての苦痛に

ついて考えています。その苦痛をなくすため、私は夢をおいか

け続けます。

詩
「いのちの詩・愛の詩」





優秀賞

福島市立福島第一小学校

三年 宇野 愛菜

相馬市立中村第二小学校

五年 舘岡 里歩

須賀川市立第三中学校

三年 山岸 友芽

佳作

福島大学附属小学校

五年 長谷場咲希

五年 吉田 蒼翔

六年 木口 紗良

郡山市立富田東小学校

三年 元木 咲那

須賀川市立柏城小学校

四年 栗城 采奈

鏡石町立第一小学校

五年 矢内 蓮人

石川町立野木沢小学校

五年 圓谷 悠馬

相馬市立中村第二小学校

五年 佐藤 凜望

六年 齋藤 優成

福島市立福島第一中学校

一年 安彦くるみ

いわき市立平第一中学校

二年 高子 佳音

二年 吉田 紗彩

学校法人松韻学園福島高等学校

三年 齋藤りおん

入
選

福島市立福島第三小学校

二年 山澤 柑奈

福島大学附属小学校

二年 菅原 志笑

五年 會田 栞和

六年 門馬 佳亮

六年 鈴木 理功

六年 橋本 唯

郡山市立富田東小学校

三年 溝口 詩乃

四年 相樂あさひ

五年 吉田 結香

須賀川市立阿武隈小学校

六年 岡部 燈樹

鏡石町立第一小学校

二年 森尾 和香

石川町立野木沢小学校

四年 和気 汰河

玉川村立玉川第一小学校

二年 鈴木 愛莉

三年 矢吹穂乃実

会津若松市立日新小学校

六年 室井 悠眞

相馬市立中村第二小学校

五年 草野 壱太

五年 永野 琥珀

五年 松本 旭日

五年 青田 結愛

六年 吉田 柊香

飯館村立いたて希望の里学園

四年 眞柴 鳳士

四年 遠藤 実結

福島市立福島第一中学校

一年 佐藤 瑠雛

一年 橋本 柚希

須賀川市立第一中学校

一年 数澤 由芽

須賀川市立第三中学校

一年 渡邊 楓奏

白河市立東北中学校

一年 石川 琴菜

二年 深谷 莉緒

いわき市立平第二中学校

二年 秋葉 咲良

二年 大波 梓

福島県立白河実業高等学校

三年 菊地みさき

「いのちの詩・愛の詩」優秀賞

福島市立福島第一小学校 三年 宇野 愛菜

「愛」ってなあに？

と、おかあさんに聞くと

「ママがあいなを思う気持ちよ。」

「ママは愛の力でおなかないのもなお

せるのよ。」

わたしがおなかない時

ずっとなでなでしてくれて、なおったよね。

あれが愛の力ってことかあ。

愛ってすごい!!

相馬市立中村第二小学校 五年 舘岡 里歩

「元気な赤ちゃん生まれたよ」

このことばが すき

おとこのこかな おんなのこかな

大きかったかな 小さかったかな

想像すると

あったかい気持ちになる 笑顔になる

このことばを言う母が すき

あったかい声 やさしい笑顔

このことばが聞きたくて

きょうも助産師の母の帰りを待っている

須賀川市立第三中学校 三年 山岸 友芽

楽しくなるのは

いのちがあるから

イライラするのも

いのちがあるから

逃げたくなるのも

いのちがあるから

そんな理不尽ないのちを

認めて、愛でながら

明日が来ることを

また願いたい



「いのちの詩・愛の詩」佳作

福島大学附属小学校 五年 長谷場咲希

絶対勝てるお父さんとの占いじゃんけん
おばあちゃん直伝チクチクししゅう
お兄ちゃんと指ずもう
これは絶対負けられない
また明日、おじいちゃんとのハイタッチ
お母さん お休みなさいと
手をあわせる
私の手はたくさんのお愛でできている
毎日にぎりしめる
幸せな私の手

福島大学附属小学校 五年 吉田 蒼翔

一センチメートルの小さな小さな命。
お母さんのお腹に來たけれど、お空に帰っていった。
忘れ物をしたのかな…。
会いたかったな…。一緒に遊びたかったな…。
家族みんな同じ想い。
名前は「青空^{そら}」。
いつも空を見上げたら、青空とお話できる。
今日も青空を見上げて、青空に
「だいすきだよ」「また会おうね」とお話する。



保護犬のジョーン

大きな瞳がきらりと光る

新しい家族のぬくもりを感じる

自由を知って嬉し^{うれ}そう

そばに寄り添^よう優しい家族

温かさがぐんぐん伝わってくる

毎日の散歩 前を向く瞳

共に歩む道 未来を描く

小さな命が 大きく輝く

君と共に 心地よい リズムで

福島大学附属小学校 六年 木口 紗良

新しい命

お母さんが私を生んだ時

お母さんは

「自分より大切なものができた。」

と言ってくれた。

うれしかったな。

お父さんとお母さんからもらった命、

大切に生きていきたいな。

自分が親になったら私はどう思うのかな。

須賀川市立柏城小学校 四年 栗城 采奈

わたしにはきょうだいがいない。

お母さんは

「きょうだいがいなくてごめんね。」

と言ったことがあった。

でもわたしには、お父さんお母さん

それに家ごと同じくらい大切な人がいっぱいいる。

だからお母さん心ばいしないで。

わたしはとっつてもしあわせだよ。

郡山市立富田東小学校 三年 元木 咲那

生まれたくても、

生まれてこれない命がある。

生きたくても生きられない

命がある。

生きているってきせきなんだよ。

学校も宿題もいやだけど、

元気にくらしてる。

命にかんしゃして、

せいっぱい

生きていこう。

鏡石町立第一小学校 五年 矢内 蓮人

石川町立野木沢小学校 五年 圓谷 悠馬

小さい弟
かわいい弟
泣き虫な弟
うるさい弟
家族みんなでおせわ
ぼくもこうだったのかな
と思うと
お父さんお母さんに
伝えたい言葉がある
「ありがとう。」

相馬市立中村第二小学校 五年 佐藤 凜望

いつも通り一緒に夕飯を食べ
いつも通り楽しい会話を
いつも通りおやすみとあいさつをした。
けど、次の日祖母は天国へたび立った
いつも通りの朝をむかえると
思っていた。
とつぜんいなくなってさみしい。
でも、祖母は、空から私たちを見守っていると
教えられた。
いつも通りって当たり前じゃないんだ。
一日、一日を大切に生きていこう。

相馬市立中村第二小学校 六年 齋藤 優成

「ドクン、ドドドド、トクトクトク」
ぼくは今日も生きている。
体の中から音がする。
よく耳をすましてごらん。
ほらっ、君にも聞こえるよ。
心の動きと同じ音。
生きているっておもしろい。
ぼくが奏でるミュージック。
ぼくが好きな心のリズム。
ぼくの中の命のリズム。

福島市立福島第一中学校 一年 安彦くるみ

私のお母さんは少し怖い
毎日、毎日
「歯をみがきなさい」とか
「早くねなさい」とか
いつも注意ばかり
でも、私が出かける時
いつも窓から「いってらっしゃい」
って言ってくれる
ケンカした日も、悲しかった日も
きつとそれが、愛というもの

いわき市立平第二中学校 二年 高子 佳音

学校法人松韻学園福島高等学校 三年 齋藤りおん

たとえ銀河の果てを探しても
命よりも大切な物はない
金よりも重い物
プライドを捨てても
守らなくてはいけない物
そんな命が空爆によってなくなっている
土地の奪い合いに巻きこまれて
いったい戦争が無くなるだけで
どれだけの人々が救われるのだろうか

怖い…。
私がいとこに抱いた感情。
「ダウン症」は「普通」と違って見えた。
優しい…。
私がいとこに抱いた感情。
祖父の死に悲しむ私にそっと寄りそってくれた。
どうして今まで気付かなかったのだろうか。
誰よりも心が優しいということに。

いわき市立平第二中学校 二年 吉田 紗彩

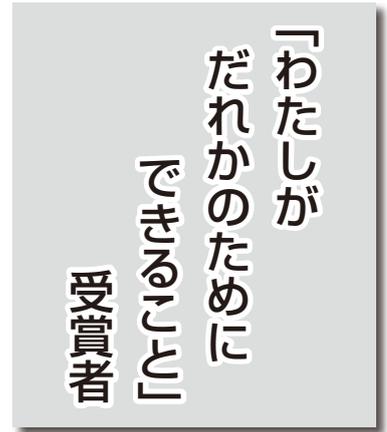
「いのち」とはなんなのか
もちろん大切なもの
じゃあ 生きている内に
「いのち」を感じられるのは？
僕は「温もり」だと思っ
「いのち」とは あたたかいもの
手を重ねれば 人の優しさに触れれば
「温もり」を感じる
それは「いのちの証」だと
僕は思っ



一〇〇文字提案

「わたしがだれかのためにできること」





優秀賞

福島大学附属小学校

五年 長澤 駿太

郡山市立富田東小学校

四年 高樋 怜那

須賀川市立柏城小学校

四年 吉田 大志

玉川村立玉川第一小学校

二年 大和田尚央

須賀川市立第三中学校

三年 角田 愛華

佳作

福島市立福島第一小学校

五年 半澤 穂佳

六年 齋藤 柚花

福島大学附属小学校

五年 丸山 千佳

五年 菅野 翔太

六年 粕川 汐理

六年 堀切 惺

郡山市立富田東小学校

二年 佐藤あさひ

三年 大窪 彩乃

三年 佐藤 るき

須賀川市立第三小学校

一年 鈴木 心椛

一年 須田 珠禾

一年 野崎 翼

一年 大竹真由香

二年 安齋 葵思

須賀川市立柏城小学校

四年 松尾 海斗

四年 藤田 悠真

会津若松市立日新小学校

六年 齋藤 姫夏

相馬市立中村第二小学校

二年 高橋 羽那

五年 佐藤 蘭

相馬市立日立木小学校

四年 松橋 空詩

いわき市立小名浜東小学校

一年 馬目 航成

福島市立福島第一中学校

三年 菅野 結衣

須賀川市立第一中学校

二年 張堂 春花

須賀川市立第三中学校

三年 坂本明佳里

三年 角田 紗羅

白河市立東北中学校

二年 福島 颯介

南会津町立南会津中学校

一年 脇坂 心捺

二年 星 紀怜

いわき市立平第二中学校

三年 小林 実莉

学校法人昌平齋

東日本国際大学附属昌平高等学校

二年 小野寺 滯

入 選

福島市立福島第一小学校

二年 佐藤 成

六年 宗田希乃歩

福島大学附属小学校

五年 丹治 佑斗

五年 高橋 滯里

五年 福田 葵

五年 穴戸 諒哉

五年 菅野 二葉

五年 森本明璃亜

六年 野地 珠榮

六年 阿久津文葉

六年 半田 奏斗

六年 半谷 顕

六年 小沢 楓

六年 五十嵐世輝

六年 齋藤 美心

郡山市立富田東小学校

二年 安齋 佳乃

二年 加藤 未希

二年 浜田 悠里

三年 山田 雄星

三年 宗形 愛彩

三年 安田 優杏

四年 松本 大輝

五年 田代ひかり

六年 後藤 理桜

六年 佐藤 優羽

須賀川市立第三小学校

一年 阿部 綾那

一年 鈴木 智仁

一年 古河 滯

一年 石川 楓

二年 本郷 友彩

二年 佐藤 湊

二年 大谷 啓眞

四年 久下 由稀

四年 鈴木 和真

四年 遠藤 結愛

四年 田村 一心

四年 小林 あい

四年 中島 悠希

四年 下重 遥慎

四年 齋藤 栞

四年 古河 優気

六年 小黒 紗希

須賀川市立阿武隈小学校

五年 村上 百佳

五年 大和田 渚

須賀川市立柏城小学校

四年 古川 瑠姫

石川町立野木沢小学校

五年 矢吹 心
六年 黒澤 結衣

いわき市立小名浜東小学校

一年 志賀 碧衣
六年 米川 斗翔

いわき市立平第二中学校

二年 坂本 果菜
二年 杉山 陽南

会津若松市立日新小学校

六年 柴田 光

福島市立福島第一中学校

一年 松津 芽依
一年 村上 凜音

福島県立平支援学校 高等部

三年 矢吹 卓哉

猪苗代町立猪苗代第二小学校

六年 板橋なつめ

一年 小野寺由真

一年 奥秋 結心

相馬市立中村第二小学校

五年 長瀬 結菜
五年 松浦 由奈
五年 高橋 芽愛
六年 横山凜々衣

須賀川市立第三中学校

三年 阿部 希空
三年 山田ひかり
三年 有我 蘭
三年 渡辺 陸斗

相馬市立飯豊小学校

四年 高橋 希生
六年 青田 瑠那

白河市立東北中学校

二年 星 優奈
二年 阿部 桃佳
三年 鈴木 明紗

相馬市立日立木小学校

四年 齋藤 美空
四年 西 駿杜
五年 星野 蓮
五年 木幡 雫
六年 佐藤美沙希

南会津町立南会津中学校

一年 平野 有彩
一年 橘 紗羽



「わたしがだれかのためにできること」優秀賞

福島大学附属小学校 五年 長澤 駿太

ぼくは、帰る前に必ずクラスのみんな

の机をそろえる。だれかのためではない。

ほめられることも嫌いだ。ぼくの日常な

だけだから。

次の日も机がきれいにならんだ教室が、

みんなのいつもならそれでいい。

郡山市立富田東小学校 四年 高樋 怜那

私のおばあちゃん、さっきのこと忘れ

ちゃう。でも、昔のことはおぼえてる。

さっきのこと忘れても、私が教えてあげ

るね。だから、おばあちゃんは、昔のこ

と教えてね。これから、お年より皆にや

さしくしてあげたいです。

須賀川市立柏城小学校 四年 吉田 大志

ぼくが食べ物をつまんだ時、「食べる
ことができなくて死んでしまう子もいる
んだよ。」とお母さんに言われた。顔も
知らないその子に、とても悪い事をした
気がして、心がチクツとした。少しでも
のこさないようにしたい。

玉川村立玉川第一小学校 二年 大和田尚央

0さいの妹。ゆかにおちているものを
なんでも口に入れる。妹がおもちやをの
みこむと、いきができなくなるらしい。
だからぼくは、小さないのちをまもるた
め、にが手なかつづけもがんばるときめ
た。今すぐできる思いやり。

須賀川市立第三中学校 三年 角田 愛華

私は中学生になってから、「ジュニアボランティア」に毎年参加し、地域行事のお手伝いに力を注いでいます。仲間との協力で地域を支えて流す汗は、「やりがいの結晶」です。その結晶をぜひ、多くの人に作ってほしいです。



「わたしがだれかのためにできること」佳作

福島市立福島第一小学校 五年 半澤 穂佳

小学校で募金をした。

私はまだ働けない。だから募金はいっぱいできない。でもおこづかいから募金した。少ないお金だけど、私のしらないだれかの役にたって、その人が、少しでも笑顔になってくれたらうれしいと思う。

福島市立福島第一小学校 六年 齊藤 柚花

私は人の話を聞くのが得意だ。私はその得意を相手がこまっていたときにいかしたい。

なぜなら、こまっている人は、うまく伝えられないと思うから。

私はこまっている人に声をかけて話を聞いてあげたい。

福島大学附属小学校 五年 丸山 千佳

能登半島地震を知ったのは、地震の次の日だった。テレビでは、地震のことで話がちぎりだ。だから、買い物に行った時、私は、今月のおこづかいを全てば金箱に入れた。「能登のみなさんに、とどけ。」と、思いながら。

福島大学附属小学校 五年 菅野 翔太

僕はお父さんと出かけた時、電車の乗り換えで困っている外国人をお父さんが助けているのを見ました。困っている人がいても外国人だと話しかける事もできないから、僕も助けられるように英語を勉強したいです。

福島大学附属小学校 六年 粕川 汐理

私が低学年の頃、帰りのバスで寝てしまい、おばあさんが起こしてくれた。そのおかげで無事に降りられた。今、私は高学年になり、その方から受けた優しさを、バスで困っている人に、返してあげたいなと思っている。

福島大学附属小学校 六年 堀切 惺

ぼくが誰かのためにできること、それは「顔を上げてよく周りを見る」こと。正直、他人と目を合わせるのは怖い。うつむいて誰かの悪意に気づかず過ごしたい。でもそれでは、ぼくの助けを必要とする人を見つけれない。

郡山市立富田東小学校 二年 佐藤あさひ

インドネシア、パプアニューギニアのチョコレートを食べました。このチョコレートは、たくさんこうにゆうすることで、先じゅうみんぞくの人びとのけいぎいてきじりつをささえることができます。もっと食べたいです。

郡山市立富田東小学校 三年 大窪 彩乃

じいじがなくなって、ばあばはさびしいと言っている。すぐに会いに行けないから、私は電話をすることにした。話していると、ばあばの声がどんどん元気になっていく。私はうれしくなる。ばあばへの電話は続けていきたい。

郡山市立富田東小学校 三年 佐藤 るき

親と公園へ遊びに行く時、持って行く物があります。それはゴミ袋です。自分のゴミでなくても、落ちていたゴミを見つけたら拾うようにしています。

小さい事だけど、自分の町がキレイになるよう続けていきたいです。

須賀川市立第三小学校 一年 鈴木 心椛

ままのおなかのなかにいたあかちゃんが、おそらのうえにいつちやった。こころがくるしくなった。なみだがいっばいでた。あかちゃんのぶんもげんきでいたい。あかちゃんのぶんもいのちをたいせつにしたいとおもった。

須賀川市立第三小学校 一年 須田 珠禾

はなちゃんがあさしゆくだいをだすのをてつだつてくれた。うれしかった。わたしはかなくんやあやなちゃんのをてつだつてあげることにした。だれかのためにがんばれるって、とてもうれしいなあとおもったよ。

須賀川市立第三小学校 一年 野崎 翼

ぼくができること。それは、あいさつ。せんせいは、いつもきょうしつでまわっていてくれる。ぼくたちが、あさげんきにとこうしてくることが、一ばんうれしいなんて、ふしぎ。だから、おおいこえでいうよ。おはよう。

須賀川市立第三小学校 一年 大竹真由香

ゆいかちゃんが、ぎゆうにゆうをこぼしちゃったよ。ぞうきんでゆかをふいてあげたよ。

「ありがとう。」
といわれたよ。やさしくしてあげたら、わたしのほうまで、とてもやさしいきもちになったよ。

須賀川市立第三小学校 二年 安齋 葵思

弟が二人いるぼくは、お兄ちゃん。お母さんがりょうりをしているときは、いっしょにあそんであげるよ。ときどきおむつをこうかんしているよ。おふろもいっしょに入るんだ。大へんだけど、弟がいてくれて楽しいんだ。

須賀川市立柏城小学校 四年 松尾 海斗

わたしが認知症の人々のためにできることは見守り。おどろかせず急がせないこと。あわてず、えがおで、おだやかに、はっきりした話し方をする事。認知症の人々のために、やさしい気持ちで、心と心で、接したい。

須賀川市立柏城小学校 四年 藤田 悠真

一月一日に大地しんがあつた。くずれた建物、火事のあと。見た事がない光景でこわかった。水やふとんもない中で、ひがいにあった人達は、体育館でくらししてた。ぼくは、おこづかいからば金した。元気になってほしいと思つて。

会津若松市立日新小学校 六年 齋藤 姫夏

「署名お願いします。」
友達と外で遊んでいたら、紙とペンを持って道を歩いている人に声をかけている人達をみつけた。地域の自然を守るための活動の手伝いを、自分の名を紙に書くだけでできるなんてすごいと思った。

相馬市立中村第二小学校 二年 高橋 羽那

外国の人をよく見かけるようになった。何を話しているかわからないから、こわい人のように思っていた。でも、さいきん外国の人と話してみたらいっしょにわらいあえた。
みんな同じ人げん。言ばより思いやり。

相馬市立中村第二小学校 五年 佐藤 蘭

しんさいの時生まれでいかなかった私は、五年生になりました。海も山も米も魚もとてもきれいでおいしいです。
福島は安心安全だよと毎日過ごしている私が、みんな元気で笑顔だよと伝えたい。

相馬市立日立木小学校 四年 松橋 空詩

かみの毛を二十センチ切った。ヘアドネーションへ出すことになった。自分のかみの毛が役に立つと考えると不思議だった。「すてきなヘアドネーションになりますように。またのびたら寄付します。」

いわき市立小名浜東小学校 一年 馬目 航成

ぼくはうみがすきです。おとうさんがうみにもぐるしごとをしているし、ときどきいえからうみをみるためにさんぽもいきます。すなはまにはごみがありません。このきれいなうみをまもるために、ごみひろいをがんばります。

福島市立福島第一中学校 三年 菅野 結衣

私は三年前、病気や事故で髪を失ってしまった子供たちに髪を寄付するボランティアをした。幼かった私は、人の役に立つことの嬉しさを知った。今は短いけど、またいつか髪が長くなったらやってみたい。

須賀川市立第一中学校 二年 張堂 春花

悲しんでいる人や困っている人がいるなら、まず自分にできることをしてみる。悲しんでいる人がいたら、隣で話を聞いてみる。困っている人がいたら手伝う。どちらも小さなことだけど、続けていけば大きくなるはずだ。

白河市立東北中学校 二年 福島 颯介

学校からの帰り道にゴミが落ちているのを見た。拾おうと思ったが、触りたくないという気持ちが出て来た。しかし、ここで僕が拾うことで地域や環境のためになると思い、落ちているゴミを拾った。良い気分になった。

須賀川市立第三中学校 三年 坂本明佳里

よりよい未来をつくるためには、偏見をなくすことが重要だと思う。相手の容姿や考え、生き方などを受け入れて一人一人が多様な価値観を持つようになれば、さらによりよい未来をつくる一歩になると私は思う。

南会津町立南会津中学校 一年 脇坂 心捺

私は小六のとき、ヘアドネーションをしました。そのときに大切だと思ったのが「誰かのために」という気持ちです。だから、今は自分の周りにも視野を広げ、自分で考え行動することを意識して毎日を過ごしています。

須賀川市立第三中学校 三年 角田 紗羅

八月に能登でボランティアに参加した姉は、未だに復旧の手が届かない現状に愕然がくぜんとした。今は募金しかできないが、高校生になったら能登へ行き、東日本大震災の時の恩返しをしたい。一日も早く平穏に暮らせませすように。

南会津町立南会津中学校 二年 星 紀怜

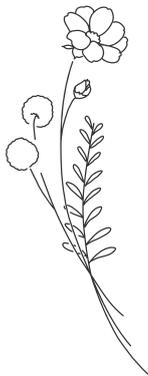
私の地域には高齢の方がたくさん住んでいる。高齢者は耳の遠い方が多い。なので朝、「おはようございます。」と言っても聞こえなくて返って来ないことがある。でも私のあいさつでだれかが温かい気持ちになっていると信じて、私は明るいあいさつを続けていこうと思う。

いわき市立平第二中学校 三年 小林 実莉

二〇一九年。台風の影響で私の家は沈んだ。多くのボランティアの方々のおかげで命だけはとりとめることができた。私もその方々から頂いた恩のように、災害にあった場所へ募金や寄付をしていきたいと思う。

学校法人昌平豊東日本国際大学附属昌平高等学校 二年 小野寺 滯

年明けに人生初の献血に行きました。緊張しながら献血バスに乗り採血してもらった後は、私も誰かを救えるといいなと思うと同時に、何となく心が温まった感じがしました。今も輸血を待つ人の為にまた行こうと思います。



一〇〇文字提案

「世界の見知らぬ友へ」

【小・中学生】



「世界の
見知らぬ友へ」
【小・中学生】
受賞者

優秀賞

福島大学附属小学校

五年 六戸 利緒

佳作

福島大学附属小学校

五年 菅家 葵
六年 佐藤 駈

須賀川市立第三小学校

二年 吉田 柳希

須賀川市立柏城小学校

四年 吉田 湊埜

平田村立蓬田小学校

二年 柄澤 元輝

いわき市立平第二中学校

二年 坂本 真依

入選

福島市立福島第一小学校

五年 紺野 寧奈

福島大学附属小学校

五年 菊田 悠登
五年 綿谷 彰悟
五年 深田 蒼介
五年 佐藤 輝尚
五年 大河内健太
五年 齋藤 遥馬
五年 紺野 創太

郡山市立富田東小学校

二年 鈴木 杏琉
六年 菅野 紗希

須賀川市立第三小学校

二年 鈴木 颯眞
四年 竹内駿太郎

須賀川市立柏城小学校

四年 桑名 遥斗

相馬市立日立木小学校

二年 北原 心愛
五年 谷津田 寿

福島市立福島第一中学校

一年 赤間 果
三年 池田 瑠楠
三年 加納 咲希

須賀川市立第一中学校

二年 石井かの香

いわき市立平第二中学校

三年 折笠 理恵
三年 志賀 彩乃

「世界の見知らぬ友へ」【小・中学生】優秀賞

福島大学附属小学校 五年 穴戸 利緒

二年前、福島市役所でウクライナの子供たちがかいた絵を見ました。

かいた子供たちは元気でいるのか心配になりました。お水と折った

つるを絵の前に置いてば金もしました。

今も戦そうが続いている。ぼくの思いとどけ！

「世界の見知らぬ友へ」【小・中学生】佳作

福島大学附属小学校 五年 菅家 葵

私は「日本人」「○○人」というような区別は好きではない。なぜなら、住んでいる所がちがうだけで差別しているように聞こえるから。だから私はあなたに初めて会ったらず、こう聞こう。

「あなたの名前は？」

福島大学附属小学校 六年 佐藤 駈

こんにちは。僕は日本の小学六年生です。あなたが今、将来のために取り組んでいることはありますか。ぼくは世界中の人たちと会話ができるように英語に取り組んでいます。いつか、あなたと会話出来たらうれしいな。

須賀川市立第三小学校 二年 吉田 椰希

ぼくに、はじめて外国人の友だちができたよ。日本のアニメがすきで、いっしょにあそんだよ。ことばや食生活がちがっても、なかよくできるよ。つぎは、どんな友だちかな。日本より大きい国かな。日本のうらがわかな。

須賀川市立柏城小学校 四年 吉田 湊埜

ぼくと同じ十才のまだ会えない人達、食べていますか。ねむれていますか。ぼくは、全部できていますが、できていない子供もいると知りました。ぼくが大人になるまで待てますか。あなた達の力になれるように勉強します。

平田村立蓬田小学校 二年 柄澤 元輝

かおも、こえも、しらないけど、いっしょにおにごっこをすればきっとなかよくなれると思う。ことばがふうじなくても、きみのえがおでぼくもえがおになれる気がするよ。けんかをしてもなかなかおりでできるせかいがいい。

いわき市立平第二中学校 二年 坂本 真依

今こそ力を合わせる時だ。言語も性別も見た目も、何も関係ない。病気も、戦争も、環境問題も人種差別も貧困も。私達が力を合わせれば、世界の問題も解決できるのではないか。世界の見知らぬ友よ。今こそ力を合わせる時だ。

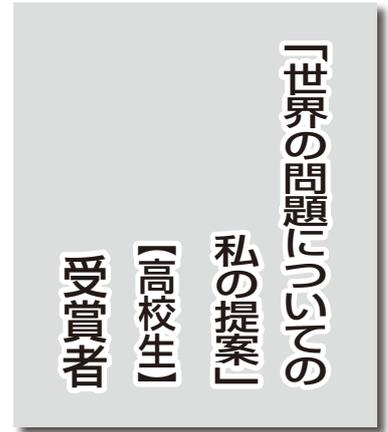


一〇〇文字提案

「世界の問題についての私の提案」

【高校生】





優秀賞

福島県立平支援学校 高等部
三年 西戸 陽翔

入選

福島県立白河実業高等学校
二年 塩田 一颯



「世界の問題についての私の提案」【高校生】優秀賞

福島県立平支援学校 高等部 三年 西戸 陽翔

世界の問題について、高校生ができることは些細なことです。ですが意欲的に取り組んだことにマイナスはないと思います。それが誰かの助けになると考えるのなら、どんなに些細なことでもやってみるべきだと思います。

一〇〇文字提案

「夢をかなえるために」



「夢をかなえる
ために」
受賞者

優秀賞

須賀川市立第三小学校

二年 有我 優冬

須賀川市立阿武隈小学校

六年 佐藤 夢翔

会津若松市立行仁小学校

六年 大原 はな

相馬市立日立木小学校

一年 門馬 和希

いわき市立平第二中学校

三年 高野ゆず季

佳作

福島市立福島第一小学校

二年 藤原 紬

福島大学附属小学校

六年 大波 那月

須賀川市立第三小学校

二年 星 環

二年 吉田 咲久

二年 滝口 晴南

四年 渡部 花音

四年 大平 優和

四年 星野 美玲

四年 小針 永愛

六年 杉浦 花怜

須賀川市立阿武隈小学校

五年 金澤 茉莉

須賀川市立柏城小学校

四年 大原桜咲音

玉川村立玉川第一小学校

六年 吉田 柚希

会津若松市立日新小学校

六年 金子茉莉奈

相馬市立八幡小学校

五年 大久保凜翔

相馬市立中村第二小学校

五年 橋本 夏帆

六年 佐藤 悠句

相馬市立日立木小学校

四年 小丸 航大

南相馬市立上真野小学校

一年 横山 良紗

福島市立福島第一中学校

一年 吉田 大希

二年 高槻 佳那

須賀川市立第一中学校

一年 瀧口 美桜

二年 大橋 葵

南会津町立南会津中学校

三年 星 心寧

入選

福島市立福島第一小学校

四年 長谷部 柚衣

福島大学附属小学校

六年 宮崎 陽翔

郡山市立富田東小学校

三年 柳沼 美羽
四年 佐藤 功武
六年 渡邊優々子

須賀川市立第三小学校

二年 吉田 莉子
二年 磯崎 柊有
四年 佐藤 駿
四年 円谷來々瑠
四年 橋本 唯
四年 金澤璃玖斗
四年 篠田 凜
四年 松下 元気
四年 袖枝 丈
四年 佐藤 桃寧
四年 吉川 るな
四年 清水 陽菜
六年 大橋 花音

六年 遠藤 陽佳
六年 佐藤 亜美

須賀川市立阿武隈小学校

五年 渡部 綾華
五年 吉田菜々花
六年 大泉 陽暉
六年 吉成 鈴菜

白河市立表郷小学校

六年 小川 華
六年 穂積 悠夏

会津若松市立日新小学校

六年 讃岐 怜華
六年 三浦 萌留

猪苗代町立猪苗代第二小学校

三年 小檜山綾乃
四年 吉田 涼
五年 小林 歩睦
六年 森口 稀良
六年 六角ひなた

相馬市立中村第二小学校

四年 豊田 悠渥
五年 佐藤 海斗

五年 高橋 凜凧
五年 高玉 悠史
六年 佐藤姫愛冠

六年 山岡穂乃花
六年 安彦 美海

相馬市立日立木小学校

四年 菅野 大芽

いわき市立小名浜東小学校

一年 内山 碧天
二年 伊藤早弥子
三年 石川 葉央
三年 木下 心陽
三年 竹村 綾柳
三年 渡辺 楓
四年 高倉 葵

福島市立福島第一中学校

一年 菅野 里紗
一年 佐藤 大仁
一年 桜井 杏
一年 丹治 紗菜

白河市立東北中学校

三年 鈴木 雫

南会津町立南会津中学校

二年 近藤 雅玖

いわき市立平第二中学校

二年 釜野 彩珠
三年 菊地 希彩
三年 鈴木 真陽
三年 三瓶 煌太
三年 芳賀 愛菜
三年 鈴木 志麻

福島県立白河実業高等学校

一年 武内 和樹

「夢をかなえるために」優秀賞

須賀川市立第三小学校 二年 有我 優冬

ぼくのゆめは、しょうぼうしになることです。友だちに、きけんなしごとだよ、と言われたけど、ぼくは、人をたすけるためになりたいと思っています。今もこれからも、まわりの人のためになることをしたいです。

須賀川市立阿武隈小学校 六年 佐藤 夢翔

ぼくの夢は、漁師になることです。なぜなら五年生の社会科で、日本の食料生産が低いことが分かったからです。ぼくは、日本の食料生産を守っていき、できるようにしたいので、漁師を夢にしました。

会津若松市立行仁小学校 六年 大原 はな

私は、将来ユニセフの仕事に就いて、

水不足や紛争で困っている人を助けたい

と思っています。そのために、本やイン

ターネットで水不足の原因などを調べた

り、外国語の勉強をしたりしてがんばっ

ています。

相馬市立日立木小学校 一年 門馬 和希

ぼくのゆめは、うまのせわをすること

です。ぽにーにのせてもらったり、えさ

をあげたりしておせわのれんしゅうをし

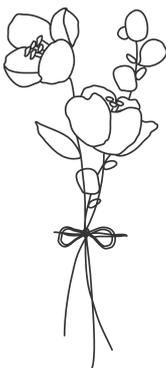
ています。いつもうまのずかんをみてい

ます。おおきくなったら、のまおいにい

っしよにでたいです。

いわき市立平第二中学校 三年 高野ゆず季

私は、児童養護施設で働きたい。理由は、子ども達の心の支えになりたいと思ったからだ。そのために、普段から兄弟や友達の相談に乗ったり、クラスで困っている人を助けたりして、みんなの心の支えになりたいと思った。



『夢をかなえるために』佳作

福島市立福島第一小学校 二年 藤原 紬

わたしのゆめは、けいさつかんになることです。どろぼうをつかまえるために、まいあさ校ていをたくさんはしっています。これからがんばりたいことは、わるいことと、ただしいことをはんだんできるようになりたいです。

須賀川市立第三小学校 二年 星 環

せかいの人たちですてきなお花をとどける花やさんになりたいです。どことなくの人たちもきれいな花を見るといい気もちになるので、かなしい人たちをしあわせにしたいです。そして、せかいがへいわになるといいです。

福島大学附属小学校 六年 大波 那月

私の夢はダンサーです。ダンスは見ている人を笑顔にする力を持っています。もちろん踊っている人もです。自分が綺麗きれいに踊れるようになると、すぐ達成感を味わえる仕事です。ダンスで世界中の人々を幸せにしたいです。

須賀川市立第三小学校 二年 吉田 咲久

ぼくはしょう来、うちゅうひこうしになりたいです。そのためにべんきょうや、えいごを今のうちからがんばっています。家では、かけざん九九をれんしゅうしています。ゆめにむかっでできることを一生けんめいしたいです。

須賀川市立第三小学校 二年 滝口 晴南

ようち園の先生になりたいです。子どもたちがなかよくあそぶと心も体も元気になると思うので、やさしい先生になりたいです。やさしい先生になると、子どもたちもやさしくなっていて、みんないい気持ちになるからです。

須賀川市立第三小学校 四年 星野 美玲

わたしのゆめは、学校の用む員になることです。なぜかというとお母さんが用む員として働いていることと、用む員さんの仕事は、学校をきれいにしてみんなが気持ちよく登校できるようにする仕事だからです。

須賀川市立第三小学校 四年 渡部 花音

わたしは小学校の教しになりたい。全校児童にやさしい教しになりたい。でも、おこるときはきちんとおこる教しになりたい。いじめなんてゆるされたい。だからこそ、生徒の気持ちがちやんと理かいてできる教しになりたい。

須賀川市立第三小学校 四年 小針 永愛

わたしのゆめは、けいさつかんになることです。どろぼうやとうさつなどのひがいで、失われてしまった人たちの笑顔を、とりもどしてあげたいからです。そのために今から体力作りを考え、空手を習いがんばっています。

須賀川市立第三小学校 四年 大平 優和

私のゆめは、おすしやさんになることです。私のおじいちゃん、おすしやさんです。おすしをにぎっている姿がすごくかっこよくてあこがれています。今はおじいちゃんの手伝いを一生けん命しています。

須賀川市立第三小学校 六年 杉浦 花怜

動物が好きだ。とっても大好きだ。だが、人によって傷つけられる動物がたくさんいることを知った。そんな人達によって傷つけられた動物たちを減らし、そんな動物たちの傷がいやせるような仕事したい。

須賀川市立阿武隈小学校 五年 金澤 茉莉

わたしの夢は、ダンサーです。そのためにやっていることは、練習の時に、先生が言っていたことをメモするためのノートを作っています。週六回のレッスンのほかにも、家でもっと練習をして、もっとうまくなりたいです。

須賀川市立柏城小学校 四年 大原桜咲音

わたしのゆめは、小学校の先生になることです。そのために、だれにでもやさしくえがおがおすすめです。ふとくいな教科もなくすようにがんばっています。大変な仕事だと思っけどあきらめたくないです。

玉川村立玉川第一小学校 六年 吉田 柚希

ぼくには夢があります。その夢は、プロ野球の選手になることです。今ぼくはソフトのスポ少に入っていて、夢をかなえる第一歩の所です。夢をかなえるには「努力」と「あきらめない気持ち」を大切にしていききたいと思います。

会津若松市立白新小学校 六年 金子茉莉奈

夢は、イラストレーター。初歩として、普段から身近なものをよく観察するようにしている。服のしわや影の落ち方、身の回りのものの光沢や質感など、今までは気に留めていなかったものにも目を向け生かしていきたい。

相馬市立八幡小学校 五年 大久保凜翔

ぼくは、救急救命士になりたいです。夢をかなえるために、たくさん勉強して、体力をつけて、人にやさしくして、だれかがけがしているときにすぐにつけられる人になりたいです。

相馬市立中村第二小学校 五年 橋本 夏帆

私の夢は、まん画家になることです。なので、絵をかいいたりしています。けれど、あるていど文章力も必要だと思っので、国語もがんばっています。それは、少しのことですが、毎日コツコツ夢に近づいていきます。

相馬市立中村第二小学校 六年 佐藤 悠句

ぼくのしょうらいの夢は、漁師です。なぜかというとお父さんとおじいちゃんの船を受けつぎたいからです。家族やみんなに相馬市のおいしい魚をとどけて、相馬市の特ちょうの水産業をドンドン盛り上げて行く。

相馬市立日立木小学校 四年 小丸 航大

僕の夢はそろばんの達人になることです。

四月からそろばんを習い始めました。暗算やかけ算が難しいです。家でも練習しています。

今の目標は一級を取ることです。つまづくことがあっても達人になるために頑張ります。

南相馬市立上真野小学校 一年 横山 良紗

ぼくは、のうきがだいすきです。おとうさんのてつだいをしているうちに、トラクターやくさかりきかいがだいすきになりました。おおきくなったら、あたらしいきかいをつくって、じぶんでつかってみたいです。

福島市立福島第一中学校 一年 吉田 大希

僕はバドミントン選手を目指しています。毎日練習し、技術を磨き、試合で経験を積んで自信を深めています。体力作りや栄養管理も大切に、仲間といっしょに切磋琢磨しながら夢の実現に向けて全力で努力を続けます。

福島市立福島第一中学校 二年 高槻 佳那

私の将来の夢はイラストレーターです。だから、日々練習をしています。大抵は模写をしていますが、最近では描く感覚を覚えてきたので、自作の絵にも挑戦しています。他にも苦手な手を描く練習などにはげんでいます。

須賀川市立第一中学校 一年 瀧口 美桜

私の将来の夢は、医師になることです。

そのために、今の自分ができることは何かを考えました。私は海外でも人を救える医師になるために、今は、英語をがんばっています。

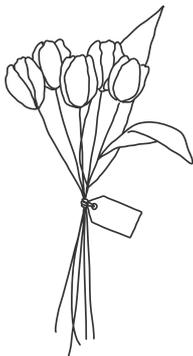
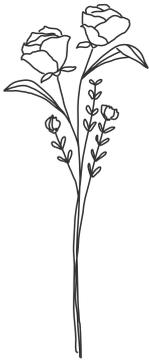
将来、医師になったら、世界の人たちの命を救いたいです。

須賀川市立第一中学校 二年 大橋 葵

私の夢は「世界の様々な国に行くこと」です。多くの国の人々や文化にふれることで、違うものへの理解を深めていきたいと考えています。そして、その経験をより多くの人たちに届け、皆が笑顔になる世界にしたいです。

南会津町立南会津中学校 三年 星 心寧

私が教員になるために実践していることは、自分に厳しく、そして目標を作ることです。学習に疲れ、投げだしたい時があっても、自ら作った目標を諦めずに少しずつでも達成していけば、夢はいつか必ず叶^{かな}うと信じて、頑張っていきたいと思いま



作品応募校

- | | | |
|-------------|---------------|------------------------|
| 福島市立福島第一小学校 | 会津若松市立行仁小学校 | 須賀川市立第三中学校 |
| 福島市立福島第三小学校 | 会津若松市立日新小学校 | 石川町立石川中学校 |
| 福島大学附属小学校 | 猪苗代町立猪苗代第二小学校 | 白河市立東北中学校 |
| 郡山市立富田東小学校 | 喜多方市立駒形小学校 | 南会津町立南会津中学校 |
| 須賀川市立第三小学校 | 昭和村立昭和小学校 | 南相馬市立原町第一中学校 |
| 須賀川市立小塩江小学校 | 只見町立只見小学校 | 大熊町立学び舎ゆめの森 |
| 須賀川市立阿武隈小学校 | 相馬市立八幡小学校 | いわき市立平第二中学校 |
| 須賀川市立柏城小学校 | 相馬市立中村第二小学校 | 学校法人福島成蹊学園福島成蹊高等学校 |
| 鏡石町立第一小学校 | 相馬市立飯豊小学校 | 学校法人松韻学園福島高等学校 |
| 石川町立野木沢小学校 | 相馬市立日立木小学校 | 福島県立白河実業高等学校 |
| 玉川村立玉川第一小学校 | 南相馬市立石神第二小学校 | 学校法人昌平覺東日本国際大学附属昌平高等学校 |
| 平田村立蓬田小学校 | 南相馬市立上真野小学校 | 福島県立平支援学校 高等部 |
| 白河市立表郷小学校 | 飯舘村立いたて希望の里学園 | |
| 棚倉町立近津小学校 | いわき市立小名浜東小学校 | |
| | いわき市立泉北小学校 | |
| | 福島市立福島第一中学校 | |
| | 須賀川市立第一中学校 | |

年度別応募状況

年 度	応 募 校 数 (校)				応 募 作 品 数 (点)			
	小学校	中学校	高等学校	合 計	小学校	中学校	高等学校	合 計
平成18年度	29	10	1	40	951	385	25	1,361
平成19年度	32	6	4	42	1,749	211	115	2,075
平成20年度	29	2	2	33	1,683	268	45	1,996
平成21年度	24	2	4	30	1,401	159	64	1,624
平成22年度	42	7	2	51	2,859	757	24	3,640
平成23年度	35	7	1	43	3,325	912	4	4,241
平成24年度	47	11	18	76	3,666	735	338	4,739
平成25年度	60	14	20	94	5,602	1,048	889	7,539
平成26年度	48	6	12	66	5,175	1,018	1,027	7,220
平成27年度	45	12	13	70	3,992	1,373	76	5,441
平成28年度	44	11	9	64	4,847	1,433	405	6,685
平成29年度	43	12	9	64	3,542	1,048	477	5,067
平成30年度	35	11	7	53	3,043	1,047	397	4,487
令和元年度	39	8	7	54	2,784	457	198	3,439
令和2年度	26	7	6	39	2,210	744	76	3,030
令和3年度	30	6	9	45	2,120	403	355	2,878
令和4年度	35	9	4	48	2,123	471	323	2,917
令和5年度	30	7	5	42	1,850	736	226	2,812
令和6年度	29	9	5	43	2,211	655	67	2,933

令和6年度 テーマ別応募作品数

(点)

テ ィ マ	小学生	中学生	高校生	合 計
いのちの詩・愛の詩	344	129	21	494
わたしがだれかのためにできること	891	227	15	1,133
世界の見知らぬ友へ【小・中学生】	220	68		288
世界の問題についての私の提案【高校生】			23	23
夢をかなえるために	756	231	8	995
応募総数	2,211	655	67	2,933

作品審査を終えて

コロナウイルス感染症拡大にともない、感染を心配し、子どもたちは外で自由に遊ぶことはできない日々が続きました。それでも、詩・一〇〇文字作品募集は継続され、令和六年度で十九回を迎えました。今では全国の青少年赤十字関係者に読んでいただき、深い感動と福島県の子どものやさしさ・思いやりの心に関心が寄せられています。

今年度も「『よりよい未来にやさしさを』届けるために、いつも相手の気持ちを考え、行動できる『やさしいこころ』をはたらかせて、詩や一〇〇文字の文章に表したメッセージを届けてください。」と令和六年度の「詩・一〇〇文字提案」作品募集を各学校にお知らせしました。子どもたちが、自分や周りの人のよさを知り、そして、文章に表したことをきっかけにして、さらに自分の力を生かし、よりよい未来をつくるために行動してくれることを期待して……。

それでも、影響は弱くなったとはいえ、コロナウイルス感染症や、マイコプラズマ肺炎等の感染を心配しながら、限られた

生活の中で、多くのことに気づき、そしてそのことについて考え、どう実践するかを考え取り組んでくれました。そして、そのことを素直な気持ちで表現してくれました。結果、県内四三校の小・中・高校生から三千点弱の詩・一〇〇文字作品が日赤県支部に届けられました。作品を書いてくださった小・中・高校生の皆さん、そして忙しい中、真摯にご指導いただきました先生方に、心より感謝申し上げます。

つぎに今までも繰り返し述べられてきましたが、これからの作品作りについて気をつけてほしいことを記してみます。

一 この「詩・一〇〇文字」提案は、「書く活動」を通して、青少年赤十字の目的や活動を自分のこととしてとらえながら、毎日常生活科や総合的な時間などで取り組んでいることから選んで、なにを書きたいのか、応募のテーマを決めてください。態度目標の「気づき」「考え」「実行する」の実践そのものだとわたしは思います。

二 一〇〇文字という限られた文字数の中で書きたい核心に迫る表現を工夫しましょう。感動したことをテーマにしたのであれば「私が感動したことは〴〵」、わたしがだれかのために行えることであれば「わたしがだれかのためにできること

はら」などと書き出す必要はありません。「いのち」「愛」「感動」などのことばもあえて使わず書いてみてください。詩であらわすことも、制限字一〇〇文字で書いてみて、短文で切った詩の形にするのも一つの方法だと思います。七五調のリズムや七七調のリズムを利用するのも方法です。詩はマス目のない用紙を利用していますが、字数制限がないわけではありません。端的な表現を試みてください。

三 読み手を引きつけるのは、作品を書くあなたが、そこに登場することです。体験や経験から生まれた自分の思いを伝えることです。完成した作品は読み直したり、周りの人に読んでもらったりして、思いが伝わったかどうか確かめてみてください。

四 あえて言います。わたしがだれかのためにできること（奉仕）は、周りの人や社会のためにできることです。家でのお手伝いは、家族の一員として協力し家庭生活をよりよいものにするのだと思います。書くのであれば、いのちの詩・愛の詩（健康・安全）の領域で書いた方がいいと思います。

おわりに、作品を寄せていただいた学校、指導に関わってくださった先生方、そしてたくさん作品を寄せてくれた児童生

徒の皆さんに対して、審査員一同心から感謝し、お礼申し上げます。今後とも青少年赤十字活動を身近に感じ、実践することを通してさらにより作品が生まれることを祈っています。

令和六年十一月 最終審査会を終えて

福島県青少年赤十字賛助奉仕団

委員長 松田貞夫



審査にご協力いただいた皆様 (敬称略)

☆ 審査員長 (福島県青少年赤十字賛助奉仕団委員長)

○松田 貞夫

☆ 審査員 (青少年赤十字福島県指導者協議会長、福島県青少年赤十字賛助奉仕団員)

○嶋原 理

○青山 邦夫

伊藤 弘行

遠藤寿美子

○圓谷 円

○金谷 哲

○木村 真一

○小林 伸行

午來 勝顕

高橋 恵子

高橋 澄子

高野 博幸

○土屋 悦男

中島 清州

長谷川文之

原 豊子

○宮前 貢

吉川 和夫

渡邊 義人

野崎 修司

高畑健一郎

渋谷 朗

中野喜久枝

菅野 善昌

関根 勝志

吉田 信也

吉田 佳正

高澤 朱

鈴木美津子

渡邊 隆

菊地 裕二

○阿部 友紀

尾形慎一郎

佐藤 吉郎

※○印…最終審査員

☆ 事務局 (日本赤十字社福島県支部)

事務局長

調整監

組織振興課 課長

社員係長兼ボランティア係長

青少年赤十字指導講師

青少年赤十字指導講師

嘱託

久保 克昌

岸波 庄一

出口 智美

相澤真理子

大内 雅之

菅野勇一郎

小池 樹里

